

## 再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担当課：都市・地域整備局街路課

担当課長名：齊藤 親

<b>事業名</b> ひがしなかねたかば <b>東中根高場線</b>	<b>事業区分</b> 街路	<b>事業主体</b> ひたちなか市
<b>起終点</b> 自：ひたちなか市稲田 至：ひたちなか市高場		<b>延長</b> 1.5 km
<b>事業概要</b> 東中根高場線は那珂町と水戸を結ぶ水戸勝田環状道路の一部を構成する。常磐道那珂ICから本市への交通ルートとして通過交通が多く、一般国道6号との立体交差を含む延長1.5 Kmの4車線道路である。		
<b>H元年度事業化</b>	S36年度都市計画決定 （最終H12年度変更）	H元年度用地着手 H3年度工事着手
<b>全体事業費</b>	33億円	<b>事業進捗率</b> 60%
<b>計画交通量</b> 35,900台/日		<b>供用済延長</b> 1.0 km
<b>費用便益分析結果</b>	<b>B / C</b> (事業全体) 1.8 (残事業) 5.1	<b>総費用</b> (残事業)/(事業全体) 12 / 33 億円 (事業費:11.7/32.8億円) (維持管理費:0.1 / 0.1億円)
<b>総便益</b> (残事業)/(事業全体) 60/ 60 億円 (走行時間短縮便益:57.7/57.7億円) (走行費用減少便益:0.7 /0.7億円) (交通事故減少便益:1.8 /1.8億円)		<b>基準年</b> 平成15年
<b>事業の効果等</b> ・都市の再生(広域道路整備基本計画に位置付けのある環状道路を形成する)		
<b>関係する地方公共団体等の意見</b> 水戸・勝田都市圏における広域環状道路となることから、地域住民からも強く整備を要望されている。		
<b>事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等</b> 近隣区画整理、開発行為による人口の増加、また沿線の大規模店舗、結婚式場などの出店のため、ますます交通渋滞が深刻化している。		
<b>事業の進捗状況、残事業の内容等</b> 平成13年までに用地買収を終了し、立体交差部の工事を進めており、平成18年度に全線供用予定である。		
<b>事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等</b> 一部において用地交渉が難航し、工事着手までに長期間を要したが、現在までに1.0 Kmを部分供用し、残工事は一般国道6号の立体交差部のみである。 用地進捗率100% 工事進捗率60%		
<b>施設の構造や工法の変更等</b> 特になし		
<b>対応方針</b> 事業継続		
<b>対応方針決定の理由</b> 以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。		
<b>事業概要図</b>		
		

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。